

# 第1回 県内での多文化共生に関する意識調査

○実施期間 令和6年7月10日～7月16日

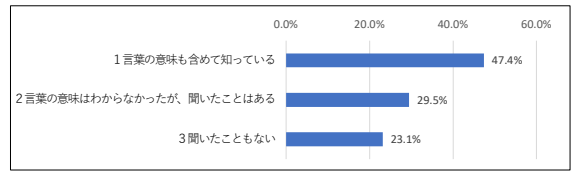
○アンケート会員数 307名 回答者数 268名(87.3%)

○奈良県が、国籍や民族などの違いに関わらず、県民の皆様が安心して暮らすことができる多文化共生社会の実現に向けた社会づくりを進めるためにアンケートを実施します。

(グラフ内スペースの関係から、選択肢の全文が表示されないことがあります。左の表でご確認ください。)

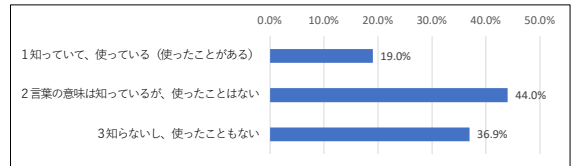
## 問1 「多文化共生」という言葉を知っていますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1言葉の意味も含めて知っている	127	268	47.4%
2言葉の意味はわからなかったが、聞いたことはある	79		29.5%
3聞いたこともない	62		23.1%
総計	268		100.0%



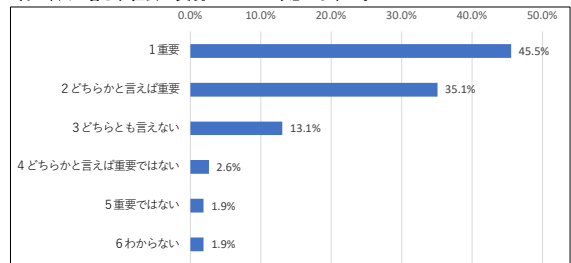
## 問2 「やさしい日本語」を知っていますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1知っていて、使っている(使ったことがある)	51	268	19.0%
2言葉の意味は知っているが、使ったことはない	118		44.0%
3知らないし、使ったこともない	99		36.9%
総計	268		100.0%



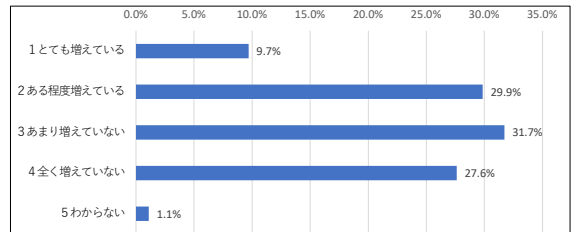
## 問3 現在、奈良県には約1万7千人を超える外国人が暮らしています。国籍や民族等の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1重要	122	268	45.5%
2どちらかと言えば重要	94		35.1%
3どちらとも言えない	35		13.1%
4どちらかと言えば重要ではない	7		2.6%
5重要ではない	5		1.9%
6わからない	5		1.9%
総計	268		100.0%



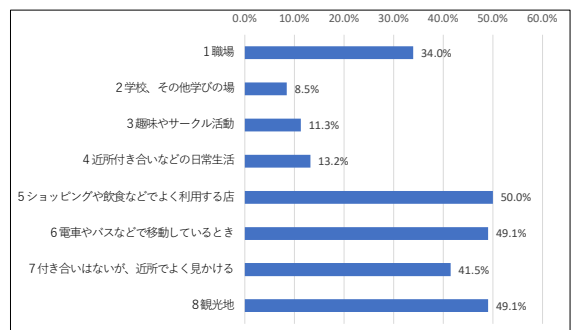
## 問4 日々の暮らしの中で、外国人住民と接する機会が増えていますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1とても増えている	26	268	9.7%
2ある程度増えている	80		29.9%
3あまり増えていない	85		31.7%
4全く増えていない	74		27.6%
5わからない	3		1.1%
総計	268		100.0%



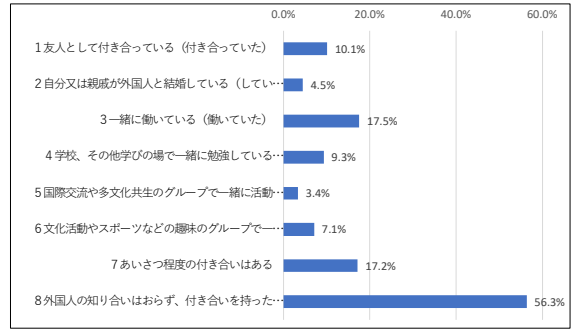
## 問5 問4で「1 とても増えている」、「2 ある程度増えている」を選択された方にお尋ねします。どのような場面で外国人住民と接する機会が増えていますか。あてはまる番号を全て選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1職場	36	106	34.0%
2学校、その他学びの場	9		8.5%
3趣味やサークル活動	12		11.3%
4近所付き合いなどの日常生活	14		13.2%
5ショッピングや飲食などでよく利用する店	53		50.0%
6電車やバスなどで移動しているとき	52		49.1%
7付き合いはないが、近所でよく見かける	44		41.5%
8観光地	52		49.1%
総計	272		



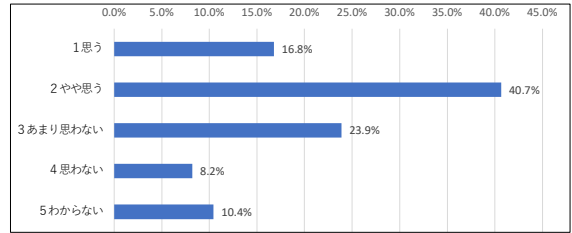
問6 日々の暮らしの中で、外国人住民とどのような付き合いがありますか。あてはまる番号を全て選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1友人として付き合い合っている(付き合い合っていた)	27	268	10.1%
2自分又は親戚が外国人と結婚している(していた)	12		4.5%
3一緒に働いている(働いていた)	47		17.5%
4学校、その他学びの場で一緒に勉強している(勉強していた)	25		9.3%
5国際交流や多文化共生のグループと一緒に活動している(活動していた)	9		3.4%
6文化活動やスポーツなどの趣味のグループと一緒に活動している(活動していた)	19		7.1%
7あいさつ程度の付き合いはある	46		17.2%
8外国人の知り合いはあらず、付き合いを持ったこともない	151		56.3%
総計	336		



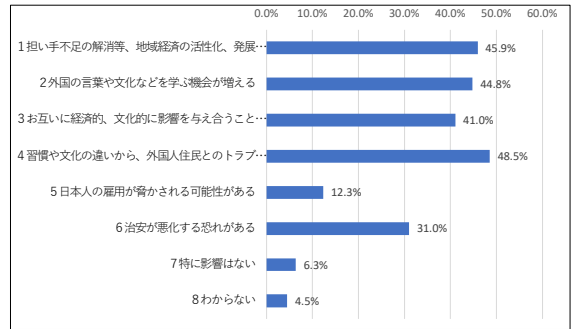
問7 外国人住民と地域社会や職場、学校、イベントなどで交流や関わりを持ちたいと思いますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1思う	45	268	16.8%
2やや思う	109		40.7%
3あまり思わない	64		23.9%
4思わない	22		8.2%
5わからない	28		10.4%
総計	268		100.0%



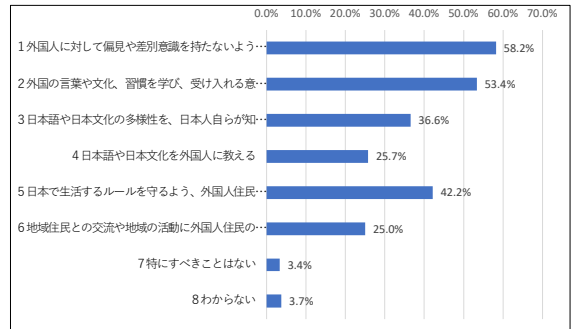
問8 地域社会に外国人住民が増えることについてどのような印象を持ちますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1担い手不足の解消等、地域経済の活性化、発展につながる	123	268	45.9%
2外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増える	120		44.8%
3お互いに経済的、文化的に影響を与え合うことで、地域の国際化につながる	110		41.0%
4習慣や文化の違いから、外国人住民とのトラブルが増える恐れがある	130		48.5%
5日本人の雇用が脅かされる可能性がある	33		12.3%
6治安が悪化する恐れがある	83		31.0%
7特に影響はない	17		6.3%
8わからない	12		4.5%
総計	628		



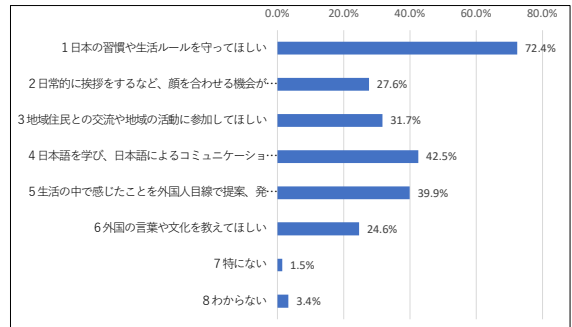
問9 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていくため、「日本人住民」は何をすべきだと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1外国人に対して偏見や差別意識を持たないようにする	156	268	58.2%
2外国の言葉や文化、習慣を学び、受け入れる意識を持つ	143		53.4%
3日本語や日本文化の多様性を、日本人自らが知る努力をする	98		36.6%
4日本語や日本文化を外国人に教える	69		25.7%
5日本で生活するルールを守るよう、外国人住民に呼びかける	113		42.2%
6地域住民との交流や地域の活動に外国人住民の参加を呼びかける	67		25.0%
7特にすべきことはない	9		3.4%
8わからない	10		3.7%
総計	665		



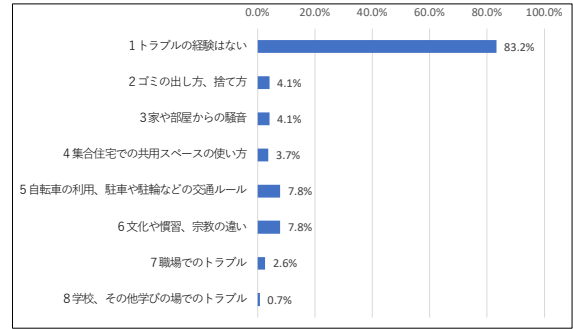
問10 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていくため、「外国人住民」に何をしてほしいですか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1日本の習慣や生活ルールを守ってほしい	194	268	72.4%
2日常的に挨拶をするなど、顔を合わせる機会がほしい	74		27.6%
3地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい	85		31.7%
4日本語を学び、日本語によるコミュニケーションが取れるようになってほしい	114		42.5%
5生活の中で感じたことを外国人目線で提案、発言してほしい	107		39.9%
6外国の言葉や文化を教えてほしい	66		24.6%
7特にない	4		1.5%
8わからない	9		3.4%
総計	653		



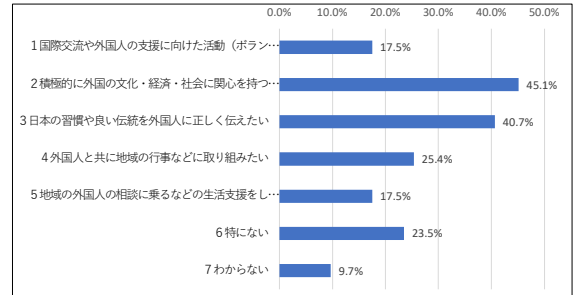
問11 外国人住民とのトラブルの経験はありますか。あてはまる番号を全て選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1トラブルの経験はない	223	268	83.2%
2ゴミの出し方、捨て方	11		4.1%
3家や部屋からの騒音	11		4.1%
4集合住宅での共用スペースの使い方	10		3.7%
5自転車の利用、駐車や駐輪などの交通ルール	21		7.8%
6文化や慣習、宗教の違い	21		7.8%
7職場でのトラブル	7		2.6%
8学校、その他学びの場でのトラブル	2		0.7%
総計	306		



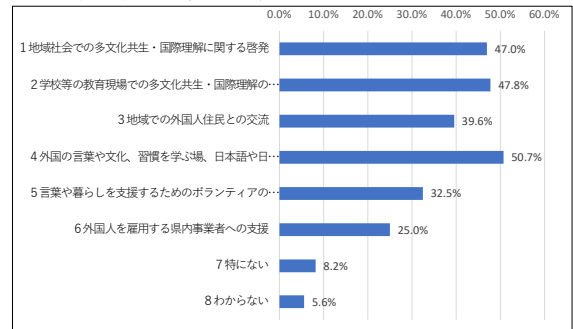
問12 今後、多文化共生・国際化が進むことに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいと思いませんか。あてはまる番号を全て選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1国際交流や外国人の支援に向けた活動(ボランティアを含む)に参加したい	47	268	17.5%
2積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい	121		45.1%
3日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい	109		40.7%
4外国人と共に地域の行事などに取り組みたい	68		25.4%
5地域の外国人の相談に乗るなどの生活支援をしていきたい	47		17.5%
6特にな	63		23.5%
7わからない	26		9.7%
総計	481		



問13 今後、多文化共生・国際化が進むことに伴い、奈良県においてどのような「日本人住民向け」の施策が重要だと考えますか。あてはまる番号を全て選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1地域社会での多文化共生・国際理解に関する啓発	126	268	47.0%
2学校等の教育現場での多文化共生・国際理解の充実	128		47.8%
3地域での外国人住民との交流	106		39.6%
4外国の言葉や文化、習慣を学ぶ場、日本語や日本文化を学ぶ場の創出	136		50.7%
5言葉や暮らしを支援するためのボランティアの育成	87		32.5%
6外国人を雇用する県内事業者への支援	67		25.0%
7特にな	22		8.2%
8わからない	15		5.6%
総計	687		



問14 今後、多文化共生・国際化が進むことに伴い、奈良県においてどのような「外国人住民向け」の施策が重要だと考えますか。あてはまる番号を全て選んでください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1外国語及び「やさしい日本語」での情報発信の推進	156	268	58.2%
2外国人住民のための日本語学習支援や、外国人児童・生徒への学校現場での支援の充実	143		53.4%
3日本での生活ルールや習慣、文化の違いへの理解に関する啓発	200		74.6%
4防災訓練や地域活動への外国人住民の参加促進	110		41.0%
5外国人住民への生活相談体制の充実	118		44.0%
6外国人が県内事業者に就職することへの支援	74		27.6%
7特にな	9	3.4%	
8わからない	10	3.7%	
総計	820		

